

緑のセンターだより

No.300 令和6年3月1日発行

発行元：(公財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

エゾニワトコ（蝦夷接骨木）スイカズラ科（レンブクソウ科）ニワトコ属

別名 カラスノミ

Sambucus racemosa ssp.kamtschatica

エゾニワトコはニワトコ(*S. racemosa ssp.sieboldiana*)の北方性変異種であり、北海道から本州の関東くらいまでの中部、朝鮮半島の中部以北、中国東北部、南千島、サハリン、カムチャッカに分布する落葉中低木で、高さ3~5mで大きくなると約8mになります。原野や林縁の日当たりのよい場所に自生しています。開花時期は5月下旬から6月で、花は小さくて乳白色、雌雄同株で頂生し、円錐花序につきます。果実は長さ4~7mm位になり、8月に赤く熟します。また道内のものには変異があり、果実が橙黄色または黄色のキミノエゾニワトコなど数種があるようです。

和名の「接骨木」は、幹や枝を乾燥させたものが捻挫や骨折に薬効があると民間に伝えられたことに由来します。生薬名は接骨木（せっこつぼく）接骨木葉（せっこつぼくよう）接骨木花（せっこつぼくか）。利用部位は根、茎、葉、花のすべてで、発汗、解熱、利尿剤として利用されるそうです。



エゾニワトコ（開花期全景）



エゾニワトコの花

若芽は山菜として利用されますが、体質により激しい下痢をする人がいるため注意が必要です。また、若芽を採りつくすと枯れる可能性があります。果実は生食でき、果実酒として利用されます。

アイヌと植物に関する本によると、エゾニワトコはアイヌ語でソコンニ（糞・持つ・木）といい、茎や葉に触ると悪臭を放ちます。そのにおいて魔物を追い払うとして、アイヌ人形のニポポはこのソコンニでつくられます。ニポポとは「小さな子」という意味で、悪魔を見つけると立ち向かっていくと伝えられています。その昔、ニポポがつくられるとき、臭気をもったエゾニワトコが使われたようですが、現在では、よりにおいの強いイヌエンジュ（アイヌ語：チクペニ）などが使用されているそうです。



エゾニワトコの実

参考文献：「園芸植物大事典」小学館 「世界の植物」朝日新聞社 「植物の世界」朝日新聞社
 「新版北海道の樹」北海道大学図書刊行会 「アイヌと植物」旭川振興公社
 「暮らしの薬草と漢方薬」新日本法規 他

3月の園芸作業

ここに記載した以外の作業も沢山ありますので
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問合せください。

緑の相談受付 10:00~12:00 13:00~16:00

★豊平公園 811-3370 月曜以外毎日（月祝日の場合は、翌平日が休み）
※平岡樹芸センター・百合が原公園は冬期間相談受付しておりません。

		作業時期	作業内容
		上旬 中旬 下旬	
屋外園芸	庭木花木	整枝・剪定	ナナカマド、コブシ、モクレン等、必要に応じて樹冠内に日が射し込むように剪定。サクラ、ヤマボウシ、ナツツバキ等は必要に応じて早めに剪定する。花芽に注意。
		中低木の雪割り	融雪で起こる雪の沈下によって、下枝が折れたり裂けたりするのを防ぐ。
	果樹	整枝・剪定	ウメ、モモ、リンゴ、ナシ、スマモ、サクランボ等を剪定する（ブドウ、キウイは落葉後の晚秋に行う）。
		病害虫予防	マシン油乳剤（10日後に殺菌剤散布が必要）・石灰硫黄合剤等の散布。各樹種により萌芽時期が若干ズレるので、芽が動き出す前の適期に適量を散布する。 朝の風のない時間に散布
	野菜	播種準備・種まき	野菜の種類に合わせて用土を準備し、種まきトレイに種をまく。種類により発芽温度が異なるので、必要な温度を守る。用土に肥料分は入れない。
室内園芸	鉢花	種まき・育苗	インパチェンス・コリウス・サルビア等の一年草の種まき・発芽温度20~25 必要
		植替え	3月下旬になると気温も上がり、根の生長も活発になるので、生育が始まった株から順次植替えを行う。
		花後の管理	アザレア・ツバキ等の他、ゼラニウム・カラント等は開花後にひ弱で徒長した新梢や茎が伸びるので、切り戻しを行い草姿を整える。
	洋ラン	灌水	鉢土の乾燥が早くなるので、乾いたら灌水する。受皿には水を溜めない。
		植替え	コチョウラン、シンビジュム、カトレア等は花後に花茎を切り落とし、植え替える。
	サボテン	施肥・灌水	新芽・新葉の伸びてきた株には充分に与え、成長を促す。
		植替え	シャコバサボテンは10位の低温に置き、新芽が動いたら植え替えて暖かい場所へ。 植替え後の灌水は4~5日過ぎてから、たっぷりと。
		灌水	低温にして水を切っていた鉢は暖かいところに移し、徐々に水を与える。
	観葉植物	灌水	各種類とも成長が目立ち、鉢土の乾燥も早まるので、乾いたら灌水。
		置き場所	日差しが強くなりはじめるので、半日蔭を好む植物はレースのカーテン越し等に移す。



Q 赤玉土、鹿沼土、腐葉土などの鉢物用土を使って作る、それぞれの植物に適した培養土の混合割合を教えてください。

A 鉢物用土の混合割合は植物にもよりますが、鉢の種類や大小、植物の置き場所、水やりなどによって多少の違いがあり、一概には決められないところがあります。下記の混合割合を参考にしてご自分の管理办法にあった培養土を作りましょう。

* 基本ブレンド：基本用土の割合は赤玉土7割、腐葉土3割です。一部の植物を除いてほとんどの植物に適した配合です。腐葉土の代わりにバーク堆肥または酸度調整をしたピートモスでも良いですが、ピートモスは多くなり過ぎないように注意しましょう。さらに水はけを良くしたい場合は赤玉土を小粒から中粒に変えるか、この基本用土に1割程度の火山レキか軽石を混和すると良いでしょう。

* 観葉植物など：主に室内で育てられる植物の用土は屋外より乾きにくいので基本用土に1割程度の火山レキか軽石を加えます。コバエが気になる場合は赤玉土6割、鹿沼土2割、バーミキュライト2割程度の無機物のみを使用しても良いでしょう。

* 多肉植物：赤玉土4割、鹿沼土4割、パーライト2割程度の水はけのよい粒状の用土を使用します。

* 山野草：赤玉土4割（できれば硬質赤玉土）鹿沼土4割、軽石2割程度の無機質のみの配合にします。

すべての用土は微塵を抜いて使用することをお勧めします。根腐れが気になるようなら、通気性、排水性の良い粒状の用土を多めに加えます。無機物のみの用土は有機物を混和した用土より、多少根の張りが劣るので注意しましょう。プランターや7号以上の鉢には赤玉土を小粒から中粒に変えると良いでしょう。月日が経つと土も保水力、排水力が劣化しますので、1~3年で新しい土に取り換えます。特にツツジ類は細根が多く根詰まりしやすいので毎年植え替えると良く育ちます。

豊平公園 展示会

ボタニカルアート展

3/19 (火) ~3/31 (日)



ボタニカルアートで札幌の第一人者である福澤レイ先生とさっぽろ植物画同好会の皆さまの作品の展示会を開催します。展示会は今年26回目を迎えます。

植物があるがままに正確に描いた美しいアートをぜひご堪能ください。

受付窓口では 植物画の一筆箋やクリアファイルの販売もしております。



春の訪れ



雪解けの頃、園内ではスノードロップやフクジュソウが顔を出します。



緑のセンターではエニシダやアマリリスが咲き始め、彩り豊かに春を感じさせます。



〒062-0905
豊平区豊平5条13丁目
TEL 011-811-6568

地下鉄東豊線
「豊平公園」駅下車
1番出口徒歩1分

春の気配、あちらこちらで



ハナモモ照手紅'



ママレードブッシュ

春の気配を感じる暖かな日が増えてきました。百合が原緑のセンターでは、豪華に咲く「ツバキ」や「洋ラン」の展示会のほか、元気が出るようなオレンジ色のママレードブッシュや淡い桃色のクレマチス、大輪八重咲のハナモモなどが見ごろを迎えます。屋外では春を呼び込むシナマンサクやスノードロップなどの開花も始まり、百合が原公園は春めいた雰囲気に包まれます。



〒002-8082
北区百合が原公園210
TEL 011-772-3511

百合が原公園

百合が原公園 展示会

アザレア展
～道内最大級のコレクション～
2/14 (水) ~3/3 (日)

ツバキ展
～古典園芸 道内最大級のコレクション～
2/20 (火) ~3/17 (日)



春の洋ラン展
～豪華絢爛！愛好家によるランの展示～
3/12 (火) ~3/17 (日)
※最終日は15:00まで

イベント情報（3月）



豊平公園緑のセンター

☎ (011) 811-6568
<https://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

【園芸教室】	開催日	時間	教材費	定員	申込開始
有機栽培の土づくり	3月9日(土)	13:30~	300円	40名	受付中
アザレアなどの鉢花管理	3月23日(土)	13:30~	300円	40名	3/12(火)~
【バラづくり実践講座】 ④無農薬のためのバラ選び	3月24日(日)	10:00~	800円	20名	3/12(火)~



百合が原緑のセンター

☎ (011) 772-3511
<https://yuri-park.jp/>

【講習会】	開催日	時間	教材費	定員	申込
洋ランの育て方	3月16日(土)	13:00~14:30	300円	20名	受付中

豊平公園緑のセンター



アザレアなどの鉢花管理

3/23（土）13：30～

アザレアやポインセチアなどの鉢花を
来年も花が咲くよう管理していくコツや
植え替え方法を学びます。

バラづくり実践講座④

無農薬のためのバラ選び

3/24（日）10：00～

年間4回にわたって開催された『無農
薬で楽しむ北国のバラづくり』シリー
ズの最終回。無農薬で栽培するための
バラ選びについて、イコロ代表の工藤
敏博氏にお話しいただきます。

百合が原緑のセンター

洋ランの育て方

3/16（土）13:00～14:30



洋ラン展の開催期間中に実施します。
様々な洋ランの育て方について、専門家から
学んでみませんか？
申込受付中。お問い合わせ・お申し込みは
百合が原緑のセンターへ